

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年8月5日
【四半期会計期間】	第64期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	丸尾カルシウム株式会社
【英訳名】	Maruo Calcium Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 源吉 嗣郎
【本店の所在の場所】	兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
【電話番号】	078(942)2112(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岩島 辰哉
【最寄りの連絡場所】	兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
【電話番号】	078(942)2112(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岩島 辰哉
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第1四半期連結 累計期間	第64期 第1四半期連結 累計期間	第63期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	1,882	2,108	8,257
経常利益(百万円)	9	85	274
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (百万円)	6	70	172
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	55	90	123
純資産額(百万円)	4,670	4,866	4,832
総資産額(百万円)	8,528	8,558	8,714
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	0.61	6.30	15.36
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	52.3	54.6	53.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第63期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 第63期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

第63期及び第64期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月～6月）のわが国経済は平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受けて急速に落ち込んだもののサプライチェーンの復旧に伴い鉱工業生産が回復に転じ、個人消費も震災後不要不急の支出を控える動きから一旦は落ち込んだものの自粛ムードが和らぐにつれ持ち直し始めております。
このような経済情勢下、当社グループにおきましては震災の直接的被害が極めて軽微であり、サプライチェーン寸断の反省から顧客の在庫手当てが進んだことから、売上高は前年同期に比べ2億26百万円（12.0%）増加し21億8百万円となりました。また損益面では懸念されていた原材料高騰が円高によりかなり緩和されたことや、ここ2年ほど設備投資を控えた結果減価償却費負担が軽減されていることに加え、前年同期には環境対策を主な狙いとした設備修繕費負担など特殊要因もあり、営業利益は65百万円（前年同期比70百万円増、前年同期は5百万円の損失）、経常利益は85百万円（前年同期比76百万円増、814.7%増）、四半期純利益は70百万円（前年同期比77百万円増、前年同期は6百万円の損失）と増収増益となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

第2四半期連結会計期間以降の国内経済は震災関連の復興需要も政策の遅れから影響予測が立たず、また原発問題に起因する電力不足は全国に広がり多くの産業に悪影響が予想される上、新興国の経済発展に支えられてきた輸出も欧米経済不安による円高のため厳しい状態にあります。

当社グループにとりまして、震災の反省から顧客先での在庫積み増しによる売上増加を主因として第1四半期連結累計期間は順調な滑り出しとなりましたが、上述国内経済情勢から第1四半期連結累計期間の勢いは衰えたと見ざるを得ず、従来に増して、社会的要請でもある節電を中心とした製造コスト削減努力や新製品開発をスピードアップする一方、地に足が付き始めた中国市場での拡販に注力してまいります。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、82百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月5日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,710,000	11,710,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	11,710,000	11,710,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	11,710	-	871,500	-	435,622

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 515,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,090,000	11,090	-
単元未満株式	普通株式 105,000	-	-
発行済株式総数	11,710,000	-	-
総株主の議決権	-	11,090	-

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
丸尾カルシウム(株)	兵庫県明石市魚住町西岡 1455	515,000	-	515,000	4.40
計	-	515,000	-	515,000	4.40

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、霞が関監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第63期連結会計年度 有限責任監査法人トーマツ

第64期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間 霞が関監査法人

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	957,973	971,188
受取手形及び売掛金	3,250,887	3,156,653
商品及び製品	258,057	250,888
仕掛品	85,559	75,849
原材料及び貯蔵品	193,979	196,759
その他	177,461	134,200
貸倒引当金	4,747	4,318
流動資産合計	4,919,171	4,781,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	939,961	930,064
機械装置及び運搬具(純額)	977,551	922,216
土地及び鉱山用土地	562,033	562,033
建設仮勘定	34,151	65,633
その他(純額)	55,637	49,071
有形固定資産合計	2,569,335	2,529,019
無形固定資産	45,754	45,165
投資その他の資産		
投資有価証券	650,064	667,967
投資不動産(純額)	293,153	292,508
その他	246,119	251,897
貸倒引当金	8,783	8,783
投資その他の資産合計	1,180,553	1,203,590
固定資産合計	3,795,642	3,777,775
資産合計	8,714,813	8,558,996
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,525,067	1,524,452
短期借入金	249,600	271,388
未払法人税等	101,277	4,762
賞与引当金	137,800	67,700
役員賞与引当金	6,660	-
その他	407,890	438,739
流動負債合計	2,428,296	2,307,043
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	185,753	156,692
退職給付引当金	502,147	494,579
役員退職慰労引当金	187,250	-
資産除去債務	4,510	4,510
その他	74,223	229,476
固定負債合計	1,453,884	1,385,258
負債合計	3,882,181	3,692,301

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,500	871,500
資本剰余金	435,622	435,622
利益剰余金	3,260,527	3,275,055
自己株式	82,934	82,961
株主資本合計	4,484,716	4,499,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	196,911	204,218
為替換算調整勘定	34,096	29,809
その他の包括利益累計額合計	162,814	174,409
少数株主持分	185,101	193,067
純資産合計	4,832,632	4,866,694
負債純資産合計	8,714,813	8,558,996

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,882,252	2,108,524
売上原価	1,476,057	1,631,144
売上総利益	406,194	477,380
販売費及び一般管理費	411,590	411,913
営業利益又は営業損失()	5,395	65,467
営業外収益		
受取利息	525	572
受取配当金	8,186	8,228
不動産賃貸料	17,572	15,275
その他	8,810	11,052
営業外収益合計	35,094	35,129
営業外費用		
支払利息	3,658	2,494
デリバティブ評価損	13,391	10,159
その他	3,250	1,978
営業外費用合計	20,300	14,632
経常利益	9,398	85,964
特別利益		
固定資産売却益	-	405
投資有価証券売却益	67	-
その他	-	13
特別利益合計	67	418
特別損失		
固定資産処分損	6,853	4
投資有価証券評価損	709	-
役員退職慰労金	-	233
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,510	-
特別損失合計	12,072	237
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	2,607	86,144
法人税、住民税及び事業税	1,727	7,543
法人税等調整額	736	1,979
法人税等合計	2,464	9,522
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	5,071	76,621
少数株主利益	1,707	6,123
四半期純利益又は四半期純損失()	6,779	70,498

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	5,071	76,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,276	7,306
為替換算調整勘定	2,190	6,129
その他の包括利益合計	50,086	13,436
四半期包括利益	55,157	90,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,621	82,092
少数株主に係る四半期包括利益	2,463	7,966

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。
(役員退職慰労引当金) 平成23年6月29日開催の第63回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打切り支給を決議したことに伴い、役員退職慰労引当金を全額取崩し、将来の打切り支給予定額として固定負債のその他(長期未払金)に171,480千円計上しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	110,479千円	98,705千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	55,975	5.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	55,970	5.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社グループは、炭酸カルシウムの製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	0円61銭	6円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	6,779	70,498
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	6,779	70,498
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,195	11,193
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-円-銭	-円-銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

	当第1四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(新株予約権の付与)	
第1回新株予約権	
平成23年6月29日開催の定時株主総会の決議に基づき、平成23年8月4日開催の取締役会において、会社法第238条第1項及び第2項並びに第240条第1項の規定に基づき、当社の取締役及び監査役に対して株式報酬型ストックオプションとして新株予約権を付与することを決議いたしました。	
新株予約権の数	121個
目的となる株式の種類及び数	普通株式 121,000株
行使時の払込金額	1円
行使期間	平成23年8月27日から平成53年8月26日まで
付与対象者	当社取締役9名及び監査役4名

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8 月 4 日

丸尾カルシウム株式会社
取締役会 御中

霞が関監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 植田 益司 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 笹川 敏幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている丸尾カルシウム株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、丸尾カルシウム株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成23年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成22年8月4日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成23年6月29日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。